

青島日本商業會議所

大正十二年七月廿六日發行
每週木曜日

第十四號

順之助氏より會議の模様を來電ありたり
午後四時より調查會を會議室に於て
開催し右來電の報告及其他の協議を爲

本號記事

- 支那に於ける穀輸出状況
- 米棉の大暴落と支那棉花
- 棉花の標準と支那棉花
- 紙巻煙草の新税率
- 支那通貨下落防止策
- 支那の排貨影響
- 銀塊並爲替(自十六日)
- 商況(自十六日)
- 本年上半期當港輸出入重要品目別表

支那に於ける穀輸出状況

近時支那製粉業が著しく發達せるに従ひ、穀の輸出は急激なる増加を告げ、日本を初め、南洋及歐米各方面に仕向けらるるに至つた。今上海税關の報告する所に據れば大正十年の輸出高は二百五十八萬七千九百六十六擔、額實に四百三十四萬三千八百八海關兩の巨額に達して居る。

註一海關兩は一、二四上海兩に相當する
左に最近三ヶ年間の支那全輸出高を仕向國別に掲げて見よう。

仕向國	一九一九年	一九二〇年	一九二一年
香港	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
澳門	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
新加坡	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
暹羅	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
獨逸	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
和蘭	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
佛國	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
露國	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
朝鮮	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
日本	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
比律賓	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
米國	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
合計	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇

右の内上海港より輸出せられたる數量を示せば左の如くである。

一、當所化學試驗所に於て本週中試驗を行ひたるものの左の如し

仕向國	一九一九年	一九二〇年	一九二一年
日本	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
向	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇
向	一、一八八、〇〇〇	一、六八八、〇〇〇	一、八八八、〇〇〇

穀は元來製粉業の副産物として産出せらるるものなるを以て穀の産額を知らんには先づ製粉業の現状を知らねばならぬ。

各製粉工場の現状

今上海を中心としてその近郊に於ける製粉業の概況を示せば次の如し。
現在上海に於ける製粉會社は二十二に達しその大半は民國元年以後に設立せられたる新式工場にシテその主なるものを舉ぐれば左の如きものがある。

- 一、三井製粉工場 (上海楊樹浦にあり光緒二十三年資本金二十萬圓を以て設立されたるものである。製粉機十六臺、職工數六十人にして一日の製造能力約二千五百袋に達する云ふ。その製品は三馬牌金魚牌壽星牌等にして主として滿洲及支那各地に販賣されて居る。
- 二、阜豐製粉廠 光緒二十四年、資本金百萬圓の株式會社として上海西蘇州路一號地に設立せらる。米國式製粉機二十四臺、職工數六百人を有し一日製作高六千袋に達する云ふ。その製品は白轉車牌、雙魚牌、雙虎牌等の商標を附せられて居る。
- 三、裕豐粉廠 光緒三十年資本金二十萬圓を以て設立せらる。使用職工五十人一日製粉高千六百袋に達する。雙龍牌はその製品である。
- 四、立大製粉製粉廠 宣統元年資本金二十萬圓の株式會社として上海曹家渡に設立する製粉機十八臺、一日製粉高三千袋製品を天字牌は販路比較的廣く支那各地に勿論歐米諸國へも輸出されて居る。
- 五、申大廠 宣統二年上海南市機廠街に設立せらる。米國式製粉機十二臺、職工八十人、一日製粉高二千四百袋馬牌粉は其の製品にして是以支那南北各地及歐米地方に仕向けられて居る。
- 六、大有製粉廠 民國元年資本金四十萬圓を以て上海蘇州路に設立せらる。製粉機六臺、職工數約二十五人、一日製粉能力千袋、製品は黃牛牌は主として上海及支那各地に需要せられて居る。

七、華豐製粉廠 民國二年資本金三十萬圓を以て上海蘇州路に設立せらる。米國式製粉機十二臺、一日製造高三千三百袋製品を綠雙龍牌、紅雙龍牌、綠雙喜牌等である。支那各地及歐米諸國へ輸移出せらる。

工場名	設立時期	資本	製粉機	職工數	一日製造高
信昌	民國三年	二萬兩	四臺	四十	八百袋
長豐	五年	四十萬兩	四十九臺	二百六十	一萬一千
福新第二廠	五年	百萬兩	七十一臺	三百	一萬五千
中華第一廠	七年	十萬兩	七	五十	千四百
和豐	七年	六萬兩	四	二十	六百袋
元豐恒記	七年	三十萬兩	十	百	千三百袋

支那各地製粉工場數及製造高

地名	工場數	一日製造高	地名	工場數	一日製造高
上海	三	元〇〇〇	長春	四	一〇〇〇〇
無錫	六	二〇〇〇	濟南	四	二〇〇〇
漢口	四	一〇〇〇	青島	一	三〇〇〇
天津	四	三〇〇〇	長沙	一	一〇〇〇
海州	一	四〇〇〇	清浦	一	一〇〇〇
常州	一	二〇〇〇	高郵	一	二〇〇〇
鎮江	一	二〇〇〇	北京	一	一〇〇〇
蕪湖	一	一〇〇〇	保定	一	一〇〇〇
吉林	一	二〇〇〇	廣東	一	一〇〇〇
通州	一	二〇〇〇			

註一袋は何れも五十斤入とす
又青島濟南を中心とする製粉狀況を見れば

- 青島製粉株式會社 大正六年創立資本金五十萬圓、米國式製粉機十六臺(七百五十馬力)を有し、職工六十人。一日製粉高三千袋(黃牛牌)一等品綠鹿(二等品)赤鹿(三等品)牡丹(四等品)等の商標を用ひ青島一帯の地方に供給して居る目下當工場に於ける穀の産額は一日約三百袋(一袋五十斤)入に位なりして次に濟南を中心とする製粉業を見るにその發達は最近の事にしてその重なる工場左の如し
- 豐年公司 東流水にあり民國二年張子衡等の創立せるものにて資本金二十二萬圓、製粉機十臺、職工四十人、一日生産高約千六百袋。鯉印商標を用ひ山鐵線津浦沿線の濟南以北に供給して居る
- 滿州製粉 舊山鐵線西北方に在り大正八年創立職工數約六十人位にして一日生産高約二千袋仕向地は豐年に同じ。
- 興順福麵粉公司 民國二年創立資本金十六萬圓にして製粉の外製油業を營む、製粉機六臺、職工五十人、一日生産高五百袋、穀九十袋を生産す、

八、福州第一、三製粉廠 民國三年資本金五十萬圓を以て設立せらる。米國式製粉機二十六臺、一日製造高四千六百袋、而して工場は支那最大にして製品紅綠雙喜牌は、南北支那歐米諸國及南洋方面へ輸出されて居る。

九、以上の他尙主なるものに左表の如きものがある。

最近穀市況 今年北方支那の麥作は例年の二分作を傳へられ濟南地方六分作山東沿線八分作の狀況にして當地に對する原料供給はあまり良好ならず殊に一般農家が昨年の麥價に鑑み賣おしみの爲昨年の麥價より五十錢方騰貴し五圓六十錢位となり之に加ふるに排日の影響を蒙り各製粉共生産を却て非常の減少を來しつゝあるの狀態に在るを以て穀も最近に至り氣配著しく硬化し來りたる所へ内地米高に伴れ市況硬化を傳へて益強ばり氣味にて當地工場渡二元七十錢九月物二元八十錢と高値を出せり。

漢口に於ける穀市況 茲數ヶ月來停工中なりし當地麵粉工場は昨今一齊に開工するに至り穀の引合弗々始りたれども何分にも内地不況に加へて滿洲物、上海物安値なる爲め商談成立抄々しからず此程鈴木洋行にて三千俵の買付ありたるに過ぎず。目下當地市價は大阪沖渡金四圓に非れば出合はず。

發行所 青島日本商業會議所

尙參考迄に漢口輸出穀工場名及一日の生産能力を表示せば次の通りである。

工場名	一日の生産能力
福建	八七〇袋
和豐	三〇〇同
裕隆	四五〇同
金龍	二五〇同
楚裕	六〇〇同
豐亨	六〇〇同
信義(沙市)	六〇〇同
湖南麵粉(長沙)	一二〇
合計	二七一〇袋

一般に漢口穀は他地方産に比し品質好評有り就中金龍穀最も歡迎せらる他は凡て福新並、但し信義は荒日にして他より拾銭方高値にあれば産額僅少なり。

雜 錄

○米綿の大暴落

支那綿價

端境期に於ける世界棉花持越高は意外の少額にて紡績會社は各國共手越少なく原棉手當には相當困難を感じ價額は高値に進むであらふと云ふ豫想から昨年末より本年始めに入つては思惑筋の買物や紡績筋の手當急ぎに買物多く暴騰を來し米棉等は米國財界の好況も手傳つて三十仙以上の高値も暫らくは維持すると云ふ様な状態で新棉出廻り迄は大した下落無きと同時に例令新棉が出廻るとも古棉持越高が激減せる本年下半期は尙相當の高値を維持するものと見られ一般に強氣に傾き居りたる爲め印棉は元より支那棉も容易に安値を見せず綿糸相場の軟弱も知らぬ顔に強調を續け來たが昨今に至りては此の強氣に多少の缺陷が発見されたる模様で二十三日の米棉現物等は一氣に百八十五ポイント方の大暴落を演じ地方印棉及び李浦市況も一齊に下値を現はす事となつたので通州棉獨り高の相場を維持する事困難で昨日は各期共買物多く崩落を演じた今世界棉花相場を支配する米棉に崩足の付いた理由を聞くに一般に傳へられ居るところは次の如くである。

一、植付後の天候割合に良好にして新棉豐作を見込まれ居ること。

二、歐洲は元より米國も原棉高製品安の變體的商狀を示して居たので繰短又は休業するもの比較的が多くなつた事。

三、從つて古棉持越高は割合に多く手持筋の賣進み傾向現はれて來たこと。

四、米國財界の不振にて小麦及麥粉砂糖等の生活必需品の下落甚だしきに牽制された氣味あること。

以上の理由を通觀すれば要するに昨年末より本年始め近くは六月初頃迄強氣筋の宣傳材料に使用されて居たものか現今では反對に弱氣の材料として提供されたに過ぎぬ事が明瞭になる即ち人氣の裏を現はす事になつたと云ふに過ぎぬ從つて一般の觀察よりすれば當分は戻賣りの相場を現はし或は二十仙割れと云ふが如き惡化の市況を一度は演ずる事になるかも知れぬといふ様になれば印棉も亦當地も牽制されて意外の安値に陥るかも知れぬ殊に當地棉に對しては政界雲行不穩を呈し居るより見て若し戦争等の事あらば一層打撃を蒙むること甚大であるとの見解より今迄の強氣仕手の中にも變節者が弗々と現はれて來た様であつた何れにせよ面白い相場を現はす事であらふ次に紡績會社の立場より今回の棉花相場の惡化を眺むれば勿論原棉安より將來の商品に對しては相當安値買出しを爲すこと出来るも綿糸も亦棉花に伴れ下落すること常なるより見れば今後採算上大なる有利の時局あることは期待出來ず例令採算上有利なりとするも其利益額少額であらふさすれば賣行不振より手持せる綿糸は元より棉花に對する値下げの損失は莫大なるもの

もので紡績會社の經營困難は今後も暫くは續くものと見ねばならす苦しい時期に遭遇したと云ふことになる。

○棉花の標準と英米

(リヴァプール帝國領事報告)

從來世界に於ける棉花の標準はリヴァプール標準を基礎とし英國以外の市場に於て品質上の爭議ある場合に於ても概ねリヴァプール標準により解決する習慣なりしが大戰以來米國に於ける棉工業の隆盛並に棉花消費額の増大と米國産棉の世界に於ける地位には從來の如くリヴァプール標準のみによる不便を感ずると同時に米國一流の獨創的我儘は從來の習慣を無視し他國に於ける當業者の意見に顧慮する處無く過般米國政府は棉花標準法を制定し本年八月より之を實施する事となり該法によれば米國市民は米棉の輸出に當り必ず米國の標準により他外國の標準に據る事を禁止するものにして本法實施の曉には英國當業者は勿論歐洲各國に於ける斯業者の迷惑甚ならず米國が其國內の取引のみに該法を適用するは勝手なりとするも外國との取引にも之を適用せんとするは不當なりとて近々リヴァプール棉花協會より四名マンチエスター棉花協會より三名紡績業者協會より二名の代表者を米國に派遣し米國政府並に當事者と友誼的交渉を遂げ本件の圓滿解決を圖る計畫なりと云ふ。

○紙卷煙草の新税率

紙卷煙草の輸入に對する海關税率表修正案は過般來審議中の處遂に一致點を見出したる爲め以前の四等級に代ふるに七等級に分類せられ上海紙煙草收稅局も亦之等紙卷煙草の内地通過税率の改正を行ひたるが之亦七等級に分類せられあり其新税率表左の如し。

(二)	一九、六八七五	二等級品	五萬本ニ付キ
(三)	一四、六二五〇	三等級品	五萬本ニ付キ
(四)	一〇、三一二五	四等級品	五萬本ニ付キ
(五)	七、二二五〇	五等級品	五萬本ニ付キ
(六)	四、一二五〇	六等級品	五萬本ニ付キ
(七)	二、二五〇〇	七等級品	五萬本ニ付キ

○支那の通貨下落防止策

銀行公會の請求に基き支那政府當局は市場過剰により通貨の下落を來すべき新補助貨幣の發行停止を天津南京兩造幣廠に命令せり。

又之等補助貨の市場過剰救済の爲め天津造幣廠は過去十二箇月間該廠の補助貨の委託發行の許可を有する官商委託發行所に對し廠報を以て該補助貨を銀元と引換へに造幣廠に返還すべきことを命じたり。

○支那の排貨影響

本年支那に日貨排斥が起つてから約五箇月間在支邦人は勿論内地の對支貿易業者が直接間接に蒙むつた損害は非常な金額に上る見込みで農商務省は對支貿易の直接蒙むつた損害程度に就き調査中であるが或る品目によつては商談殆んど絶つたるもあり或は半減の悲境に陥りたるもありて其損害は随分多額に上るべく豫想されて居るが輸出品の首位を占むる綿糸布の如き其損害金額は大なるも減少割合は比較的輕微である之を平均すれば六月の如きは五割減を示し七月も相當に減少の見込である試みに横濱、神戸、大阪、長崎、門司、函館の六港に於ける本年一月以降の對支輸出額を昨年同様に比較する時は

品名	本年	昨年
一月	二、二二一、七〇四	一、四一七、〇七〇
二月	一、九〇六、八七五	二、四三六、六九八
三月	三、〇一〇、五八二	五、〇八七、一〇二
四月	三、〇一四、七〇〇	三、四五〇、八八七
五月	二、一八八、九七四	三、六一二、四五五

品名	本年	昨年
倫敦銀塊	三〇 1/2	三〇 1/16
紐約銀塊	三〇 1/2	三〇 1/16
大連銀塊	三〇 1/2	三〇 1/16
齊齊銀塊	三〇 1/2	三〇 1/16
市中現物	三〇 1/2	三〇 1/16

品名	本年	昨年
英米爲替	100 = 100	100 = 100
正金日本爲	100 = 100	100 = 100
倫敦爲	100 = 100	100 = 100
米國爲	100 = 100	100 = 100
上海爲	100 = 100	100 = 100
天津爲	100 = 100	100 = 100
滿洲爲	100 = 100	100 = 100

品名	本年	昨年
倫敦銀塊	三〇 1/2	三〇 1/16
紐約銀塊	三〇 1/2	三〇 1/16
大連銀塊	三〇 1/2	三〇 1/16
齊齊銀塊	三〇 1/2	三〇 1/16
市中現物	三〇 1/2	三〇 1/16

品名	本年	昨年
英米爲替	100 = 100	100 = 100
正金日本爲	100 = 100	100 = 100
倫敦爲	100 = 100	100 = 100
米國爲	100 = 100	100 = 100
上海爲	100 = 100	100 = 100
天津爲	100 = 100	100 = 100
滿洲爲	100 = 100	100 = 100

六月 一四、〇五〇、〇〇〇 二七、六九六、〇〇〇
となり二月以降何れの月も減少を示し六月は最も甚だしく七月も相當に減少の見込である。

銀塊並爲替(自十六日)

銀塊 市場は引續き閑散状態にして印度買、大陸賣の趨勢を支持し支那は時々賣或は買に出で場面變化無く月曜三〇片四分の三より土曜三〇片十六分の十五と稍強調裡に越過せり。

爲替 市場さしたる影響無く依然支那人の態度に追隨するの有様なるが支那も亦大した活動を見せず一日賣れば一日は買に廻る始末にて相場激變無く保合裡に越過せり月曜標金寄附三百三十八兩二

十兩五〇倫敦向三志十六分の九を唱へ英米クロス亦保合状態にして月曜四弗五十九仙八分の三土曜四弗五十九仙十六分の十一を呼び居たり。

金銀相場表

爲替相場表

倫敦銀塊 三〇 1/2
紐約銀塊 三〇 1/2
大連銀塊 三〇 1/2
齊齊銀塊 三〇 1/2
市中現物 三〇 1/2

商 況

(自十六日)
(至廿一日)

重要品市況

○綿糸 引續き手堅き商狀なりしも前週近頃珍らしき商盛を見せたる跡とて問屋筋需筋共に買氣一服の風情を示し商内閑散裡に越過せる相場高低左の如し。

十六日 十八日 二十日 廿一日

金貨 (十六手) 一四七五 一四七五 一四七五 一四七五
銀月 (十六手) 一四七五 一四七五 一四七五 一四七五
花銀 (二十手) 一四七五 一四七五 一四七五 一四七五
宮女 (同) 一四七五 一四七五 一四七五 一四七五
寶船 (同) 一四七五 一四七五 一四七五 一四七五
小田原 (廿二手) 一四七五 一四七五 一四七五 一四七五

○綿布 實需筋安値弗々買氣あり鳴細布七兩世樂島細布七兩五旭細布七兩五同二等品六兩九七五九龍粗布六兩一〇水月粗布五兩六二五馬美人天竺五兩〇七五にて小口手合せ出來たり。

○砂糖 前週より引續き商況順調に進展し手持荷を持余したる向も漸々消化し盡され日本糖の市中在荷は殆んど處分済の有様なれば遠からず起るべき夏向需要引當として支那問屋筋多少買氣を見せ來り値頃買進みの意向あるらしく一方日本製造家筋は一般に高値唱へなる爲引合不可能に見受けらるも或製造家の如きは相當の値頃なれば支那市場と折合たき意見をも有し居有様なれば近く多少の商内を見るに至るならんと豫想せらる相場は前週通りを動かす。

○燐寸 引續き殆んど無材料にして何等の變化も無く僅かに實需筋の當座買付により市場を維持するに過ぎずされど東魯の休業兩社の繰短によりさしたる滞貨を生ぜざるも市況閑散相場は前週と同じく三福安平入三十一弗五十錢より三十二弗見當を小往來す。

○石炭 地賣市況は前週と變化無かりしが輸入は祥泰號拔華新紡自用炭として開平粉炭二千五百噸を昌隆公司扱にて三井松浦塊炭一千噸の入荷を見たるのみなれども海洲方面に於ける排日貨運動の擡頭により同方面引當の日本炭の入荷は多少警戒を要すべき状況に陥りたり輸出方面は依然無味閑散特に記すべき程の事項無し。

○落花生 前週中邦商並に獨商の手により旺んに歐洲市場に仕向けられたる殼付も出廻り薄を材料に相當高張り姿となり歐洲方面亦買氣急ならざりし爲め市場氣乘薄に商内ボンヤリ氣味となり當分見込薄の状態に推移せしが廣東幫の買付は益々旺盛にして從來普通品のみに對し買付居りたるものが最近出廻りの爲め西南口貨に向つて買進み十元より十元四十錢の高値買付居る有様なれば市況益々強調毫も軟化の色無く週末生實十元三十錢殼付九元見當を強保合へり。

○花生油 市中は廣東幫の買進みにより十九元二十錢と小堅く保合つゝあるも愈々夏枯閑散期に入りて現物薄に取引活潑ならざれども廣東幫の買氣を抑へて相場強調を豫想せられしが十九日市場の爆發相場に伴れ十九元四十錢と上押爾來現品薄に下瀝り模様にて週末同保合裡に越過せり。

○小麥 殆んど支那全土に亘る作物不良に産地賣惜しみの状態にして相場は益々腰強く沿線物五元七十錢海洲物四元八十錢白五元見當を唱へ高値に製粉筋何れも見送り居れるが尙當分先高氣配は免かれざるべし。

○白米 上海に於ける日貨排斥旺盛の爲め日貨の輸入減少し小麥粉其他の食料品在荷漸次拂底となり同地方よりの白米移出は更に嚴重となりたるを以て當地移入數量も非常に減少し市中上海上米殆んど皆無の有様となり手持筋賣惜み相場は

上海上物十八元五十錢中十七元八十錢下十六元と上押せるが香港米は相變らず在荷潤澤相場も上物十四元五十錢中十三元四十錢下十一元五十錢を唱へ居れり。

○穀 内地米高の爲め手持筋賣惜み爲に氣配幾分硬化せるものゝ如くなるも期近物の注文殆んど入らず悉く九月物のみに限らるゝ有様にして相場阪神沖三圓六十五錢八月物三圓六十錢と稍稔り氣味となり濟南市場八月物銀二元六十錢九月物二元七十錢を唱へ居れり。

○牛肉 内地は輸入夥多の爲め一般荷問へ氣味にて買注文減少し積出見合の入電各店に達せる爲め邦商筋一齊買扣を爲に相場の軟化を來し週末上物銀十二錢七八厘次等品十二錢見當と下押せり。

○鶏卵 内地市場の賣行思はしからず市場頗る不活潑の商狀を移して當市場も軟弱歩調を辿り居たるが頃來の降雨に出廻り薄を告げ相場稍強調を呈し二八物十五元五十錢三〇物十二元四十五錢三五物十一元二十錢と上押せしも内地の不味は依然として需要薄を免かれざれば先行軟弱を豫想せらる。

○干芋 出廻は捗々しからざる爲め活潑なる商内行はれず市況頗る閑散なるが内地の買氣は依然旺盛なるを以て出荷に従ひ忽ち消化せらるゝ状況にて相場は上物三元五十錢見當を保合つゝあるも機會あらば持上げん氣勢にて先行強調を豫想せられつゝあり。

○麥粉 最近日本方面よりの大口輸入増あり既に寧靜にて五十袋二十日の春日九にて約一萬袋の輸入ありたるを以て相場は著しく弱含みの商狀を現はせしが濟南は天津高に牽制せられたるも與地小麥の不作を眺めて同地製粉筋は最近當地に出張し旺んに海州小麥先物を買付けつゝあるの有様なるを以て麥粉も其れに従て硬化し相場幾分強調を呈し來れり週末綠

取引所商況

物 産

○花生油 休日明け十九元十錢見當を稱へし本品は取引所受渡物件の充分ならざるを見越して支那思惑筋旺んに買進みたる爲相場も二十日高値二十元七十錢と本年一月頃の高値たる二十元九十錢の壘を磨する程度迄暴騰を見しが買方は受渡期日の切迫に廿一日遽かに賣退きに轉じたる爲め一氣に一元二十錢方の瓦落を演じ遂に十九元二十錢と安値を見するに至り後場更に十八元五十錢と落込みしが何等材料有るに非ざれば七月受渡と同時に平常に復するものと觀測せらる。

○花生實 市中現物の活況に引換へ本品市場は無商内に終れり。

錢 鈔

休日明け標金三百三十八兩五錢と強調を報じ當市場は百四十圓十錢に寄附き上海市場の軟弱を移して百三圓八十五錢に引け十七日百三圓八十錢十八日百三圓六十五錢十九日百三圓七十五錢廿一日百三圓七十錢引と無材料に大した變化無く打止めたり。

證 券

○青取 休日明け人氣幾分立直り氣味なるも取引相變らず活潑ならず一節九圓七十錢に始まりたるも無材料に嫌氣を誘致し殊に支那側買大手筋の投物に市場惡化し十七日九圓四十錢と下押更に翌十八日九圓廿一日八圓八十錢と軟化し打止めたり。

○株信 青島の軟弱と反對に買物多く十九日一、三節三圓九十錢二節四圓十錢と小堅く保合ひしが週末二節四圓三十錢四節四圓四十錢見當にて相當手合成立せり。

日清紡績會社第三十三回決算報告

(大正十二年六月)

貸借對照表

負債之部 (貸方)

株 金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	四、六六九、一九一、五七〇
諸預り金	七六五、〇一七、八〇二
仕拂手形未拂金	七、五一九、三五〇、一八〇
前期繰越金	五、六六六、六一八、六四九
當期利益金	一、二六四、一六九、四一〇
合 計	二五、七八四、三四七、六一一

資産之部 (借方)

未拂込株金	三、三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
地所建物	六、〇三六、六六六、五二〇
機械什器	七、九八四、四七六、四七三
岡崎第二工場増設勘定	二、三八、五一三、四三〇
隆興紗廠及同賬房勘定	二、三九四、一三八、六四〇
諸預り金現金有價證券	一、一九五、三七一、三九〇
受取手形未收入金	九、二九四、四八八、四一〇
原棉製品屑物仕掛物	三、四一六、〇一六、〇三〇
工場用品賄所醫局供給所勘定	一、七八四、四三〇、三〇八
職工立換金假拂金	一一一、二六三、六〇〇
合 計	二五、七八四、三四七、六一一

損益計算 利益金處分	一、二六四、一六九、四一〇
當期利益金	一、二六四、一六九、四一〇

固定財産銷却金	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
差引當期純益金	一、一四一、一六九、四一〇
前期繰越金	五、六六六、六一八、六四九
計 金	一、六八〇、七八八、〇五九

法定積立	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
從業者保險資金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
役員賞與金	六、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
株主配當金	九、二四、〇〇〇、〇〇〇
後期繰越金	五、六六六、七八八、〇五九
(年二割四分)	

